

科目名	雑貨製作実習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

雑貨製作の技術・専門知識を習得し、さらに自分のオリジナルデザインを形にできるようになる。
各自のブランディングに沿ったファッション雑貨を提案し、製作、商品化を目指す。

【科目の概要】

トレンド分析、ターゲット分析を元に、バッグ・ポーチ・アクセサリ等幅広く、オリジナル雑貨を製作する。
季節に合った素材を使用し、シーズン性、販売の現場に合った雑貨を製作する。

90分/コマ	後期	後期
1・2	PVCバッグ デザイン	31・32 上安祭商品製作
3・4	↓ パターン製作	33・34 ↓ 商品最終提出
5・6	装飾作成	35・36 HMJ 布小物製作 デザイン
7・8	胴縫製	37・38 HMJ 布小物製作
9・10	↓ 胴・持ち手縫製	39・40 ↓ サンプル提出
11・12	企画の仕事の流れ	41・42 ↓
	役職ロールプレイング	43・44 ↓
13・14	仕様書作成 バッグ	45・46 ↓
15・16	仕様書作成 帽子	47・48 ↓
17・18	上安祭商品製作	49・50 ↓
19・20	↓	51・52 卒業式用 アクセサリ製作
21・22	↓	53・54 ↓
23・24	↓	55・56 ↓
25・26	↓	57・58 ↓
27・28	↓	59・60 ↓ テスト
29・30	↓ テスト 商品一次提出	

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌

【教材・教具】

筆記用具、デザインパッド、彩色用具一式

科目名	帽子制作&造花制作Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	120	作成者	西井 亜由美
【科目の到達目標】 フェルト帽体や、天然繊維(麦わら、麻ブレード、シゾール、麻ケンマ等の帽体)を木型への型入れによる基本的な型の帽子制作技術と、基本的な造花制作技術(裁断・染色・コテ・組み立て)を習得し、オリジナルデザインへの応用力を養う。			
【科目の概要】 近年、マルチスキルな人材が求められる。帽子制作&造花制作Ⅱでは天然素材を使用した帽子と、造花によるコサージュを制作し、帽子・コサージュの基本知識を身につける。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1・2	オリエンテーション 帽子の型・造花制作の説明	31・32	帽子⑤ <上田コレクションショー作品>
3・4	夏帽体選 シゾール、麻ケンマ等、天然素材	33・34	素材発注
5・6	造花① <カメリア>	35・36	クラウン形成・ブリム形成・スチーム
	カット・コテ当て		トリミング・アレンジ
7・8	帽子① <夏帽体>	37・38	
	デザイン・クラウン型入れ・アプレビニール		
9・10	ブリム型入れ・スチーム・エッジング	39・40	帽子④<株式会社SHINDO 企業コラボ>
	トリミング・仕上げ		1点完成
11・12	造花② <紫陽花>	41・42	
	カット・染色・コテ当て		
13・14	まとめ・仕上げ	43・44	
15・16	帽子② <夏ブレード>	45・46	帽子⑤ <上田コレクションショー作品>
	デザイン・クラウン縫製		1点完成
17・18	ブリム縫製・エッジング	47・48	造花③ <薔薇>
19・20	アプレビニール	49・50	カット・染色・コテ当て
	トリミング・仕上げ		まとめ・仕上げ
21・22	帽子③ <フェルト帽子>	51・52	帽子⑥ <ヘッドドレス>
	デザイン・クラウン型入れ		デザイン・芯成形
23・24	ブリム型入れ・スチーム・エッジング	53・54	
25・26	トリミング・仕上げ	55・56	
27・28	<修了テスト>	57・58	<修了テスト>
29・30	帽子④<株式会社SHINDO企業コラボ>	59・60	
	デザイン・素材選		トリミング・仕上げ
【成績評価方法】 課題作品(デザイン・構成・テクニック・色彩感覚・全体の完成度) 課題作品の評価60%、修了テスト・小テスト30%、平常点10% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する			
【教科書・参考書】 デザインの参考には各種ファッション誌、花の写真。技術面はプリントを配布する。 サロン・ド・シャポー学院『新版 造花の作り方』			
【教材・教具】 裁縫道具・クラウン木型・ブリム木型・エッグアイロン・造花コテ各種			

科目名	雑貨デザインⅡ-A	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	野田 光晴

【科目の到達目標】

・市場におけるファッション雑貨の位置づけ、企画サイクルを理解し、企画提案、販売までの提案ができる人材の育成を目指す。

【科目の概要】

・デザイン力の発想、表現、具体化、発表を通し、市場に合った企画提案できる人材を目指す。

90分/コマ	後期	後期
1・2	プレタワークショップ準備①	31・32 【HMJ】 出展ミーティング ブランドコンセプト イメージマップ
3・4	プレタワークショップ準備②	33・34 【HMJ】 商品デザイン提案
5・6	プレタワークショップ準備③	35・36 【HMJ】 サンプル製作
7・8	プレタワークショップ準備④	37・38 【HMJ】 サンプル製作
9・10	プレタワークショップ準備⑤	39・40 【HMJ】 商品製作
11・12	マイブランド企画①	41・42 【HMJ】 商品製作 ミーティング
13・14	マイブランド企画②	43・44 【HMJ】 商品製作
15・16	ハイブランド ブランド分類 バッグのデザイン展開	45・46 【HMJ】 商品製作
17・18	ハイブランドの雑貨デザイン 講義・リサーチ	47・48 【HMJ】 商品製作 ミーティング 価格決定
19・20	上安祭企画①	49・50 【HMJ】 商品製作
21・22	上安祭企画②	51・52 【HMJ】 商品製作 ポスター撮影
23・24	上安祭企画③	53・54 【HMJ】 商品製作 商品タグ 台紙 パッケージ決定
25・26	上安祭企画④	55・56 【HMJ】 商品製作 VMD決定
27・28	上安祭企画⑤	57・58 東京研修
29・30	テスト	59・60 【HMJ】出店振り返り レポート提出 テスト

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌

【教材・教具】

筆記用具、デザインパッド、彩色用具一式

科目名	ファッションデザイン&雑貨プランニング	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	実習 80% 講義 20%
時間数	60	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

企画に必要な素材や製品の知識、トレンド情報の収集と分析から、商品企画とデザインができる。
多様化するファッション業界の現状と市場を分析しながらオリジナル企画を立案できる。

【科目の概要】

ファッション業界における雑貨商品市場を意識した企画を立案し、プレゼンテーションできる書類を作成する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	授業ガイダンス	16	上田学園コレクション 出品企画3
2	ブランド企画 プロローグ 1	17	上田学園コレクション 出品企画 4
3	ブランド企画 プロローグ 2	18	上田学園コレクション 出品企画 5
4	ブランド研究 1	19	オリジナルブランド企画 1 商品デザイン
5	ブランド研究 2	20	オリジナルブランド企画 2 商品デザイン
6	マーケットリサーチ 1	21	オリジナルブランド企画 3 商品デザイン
7	マーケットリサーチ 2	22	オリジナルブランド企画 4 商品デザイン
8	オリジナルブランド企画 1	23	オリジナルブランド企画 5 商品デザイン
9	オリジナルブランド企画 2	24	オリジナルブランド企画 6 ポスター作成
10	オリジナルブランド企画 3	25	オリジナルブランド企画 7 まとめ
11	オリジナルブランド企画 4	26	オリジナルブランド企画 8 まとめ
12	オリジナルブランド企画 5	27	プレタポルテ展示会 出展企画 1
13	上田学園コレクション出品企画 1	28	プレタポルテ展示会 出展企画 2
14	上田学園コレクション出品企画 2	29	プレタポルテ展示会 出展企画 3
15	前期試験	30	後期試験

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10%課題作品の評価60%理解力(テスト)30%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

コンピュータ、ファッション雑誌、ノート、描画用具

科目名	コンピューター演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 演習 80%
時間数	60	作成者	野田 光晴

【科目の到達目標】

修得したテクニックを更に深めクオリティの高いプレゼンテーションを目指す。
就職・将来の実務の為に作品プロモーションを行なう為のコンピューター技術を修得する。

【科目の概要】

プロモーションする為のポートフォリオ・企画書を制作する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	illustrator・Photoshop復習 ① マガジン作成	16	企画ボード制作Ⅱ ① ブランド企画 表紙・コンセプトMAP
2	illustrator・Photoshop復習 ② PCデザイン画	17	企画ボード制作Ⅱ ② ブランド企画 表紙・イメージMAP
3	ポートフォリオ制作 1 自己PRMAP制作	18	企画ボード制作Ⅱ ③ たつの企画 素材・ディテール・色・フゾク
4	ポートフォリオ制作 2 作品コンセプトと素材・色・フゾクMAP	19	企画ボード制作Ⅱ ④ ブランド企画 デザイン画MAP
5	ポートフォリオ制作 3 デザイン画MAP	20	企画ボード制作Ⅱ ⑤ ブランド企画 イメージフォトMAP
6	ポートフォリオ制作 4 イメージフォトMAP	21	企画ボード制作Ⅱ ⑥ プレゼンテーション
7	ポートフォリオ制作 5 プレゼンテーション	22	ポートフォリオ制作 表紙・コンセプトMAP
8	企画ボード制作Ⅰ ① 表紙・コンセプト	23	ポートフォリオ制作 イメージMAP
9	企画ボード制作Ⅰ ② イメージフォトMAP	24	ポートフォリオ制作 素材・ディテール・色・フゾクMAP
10	企画ボード制作Ⅰ ③ 素材・ディテール・色・フゾクMAP	25	ポートフォリオ制作 デザイン画MAP
11	企画ボード制作Ⅰ ④ デザイン画MAP	26	ポートフォリオ制作 イメージフォトMAP
12	企画ボード制作Ⅰ ⑤ イメージフォトMAP	27	ポートフォリオ制作 修正と追加
13	企画ボード制作Ⅰ ⑥ プレゼンテーション	28	ポートフォリオ制作 プレゼンテーション
14	PCデザイン画 コンテストデザイン	29	まとめ
15	前期末試験	30	後期末試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	メタルワークⅡ	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	前期
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	柿迫恒儀

【授業の到達目標】

アパレル業界内の「アクセサリー/小物」と呼ばれるカテゴリーでの商品作製に必要な技術の習得。
貴金属アクセサリーや革小物を制作し、マテリアルの知識、及びデザイン、造形力を学ぶ。
様々なマテリアルを理解し、幅広くアイテムを造り出す事の出来る、オリジナリティーのある人材の育成。

【授業概要】

各アイテムによる制作行程の理解、デザイン展開、基礎からの技術習得を目指す。
貴金属アクセサリーや革小物等 実物作品を制作する。

【授業計画】 90分/コマ

第01～02回 WAX立体リングの制作(石入り) ～ デザイン、制図
第03～04回 WAX立体リングの制作(石入り) ～ WAX成形、加工
第05～06回 WAX立体リングの制作(石入り) ～ WAX成形、加工 ツリー製作
第07～08回 WAX立体リングの制作(石入り) ～ 鋳造
第09～10回 WAX立体リングの制作(石入り) ～ キャスト上がり仕上加工 成形
第11～12回 WAX立体リングの制作(石入り) ～ キャスト上がり仕上げ
第13～14回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ デザイン、制図
第15～16回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ シルバーチェーン 線加工 成形
第17～18回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ シルバーチェーン 線加工 成形
第19～20回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ ロー付け、曲げ加工
第21～22回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ ロー付け、曲げ加工
第23～24回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ 留め具部成形、加工
第25～26回 銀線銀板で作るリンクブレス制作 ～ 留め具部成形、加工
第27～28回 銀線銀板で作るリンクブレス制作～ 成形、加工 金具取り付け 仕上げ
第29～30回 テスト・まとめ

【成績評価方法】

作品(技術、デザイン、完成度)50%
試験30%
平常点(課題全提出、締め切り期日の厳守、授業態度)20%

【教科書・参考書】

配布プリント(制作工程プリント)
実物見本 サンプル見本

【教材・教具】

バーナー、ローラー等制作機器、彫金工具一式
ミシン、革縁漉き機、革物工具等

科目名	商品研究	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	後期
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習80%
時間数	60	作成者	濱屋但
【科目の到達目標】 産学官連携産地コラボ展示作品制作や上田学園コレクション他学科コラボ作品製作を中心に雑貨アイテムのクリエイションとテクニックを向上させる。			
【科目の概要】 コラボレーション企画にて産地の現場の方や他分野の方とのコミュニケーションを行いデザインや製作を行う			
【授業計画】 90分/コマ			
1・2 上田学園コレクション 卒業作品制作 1 3・4 上田学園コレクション 卒業作品制作 2 5・6 上田学園コレクション 卒業作品制作 3 7・8 上田学園コレクション 卒業作品制作 4 9・10 上田学園コレクション 卒業作品制作 5 11・12 上田学園コレクション 卒業作品制作 6 13・14 上田学園コレクション 卒業作品制作 7 15・16 上田学園コレクション 卒業作品制作 8 17・18 上田学園コレクション 卒業作品制作 9 19・20 上田学園コレクション 卒業作品制作 10 21・22 上田学園コレクション コラボ企画製作 1 23・24 上田学園コレクション コラボ企画製作 2 25・26 上田学園コレクション コラボ企画製作 3 27・28 上田学園コレクション コラボ企画製作 4 29・30 上田学園コレクション コラボ企画製作 5			
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】			

科目名	雑貨デザインⅡ-B	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	90	作成者	濱屋但

【科目の到達目標】

・プレゼンテーション力を培い、製作から販売までのブランド・商品のPR方法、表現方法を習得する。

【科目の概要】

・企画提案、プレゼンテーションを繰り返し、より良くターゲットに伝える方法を習得する。
・イベント出店を目標とし、SNSでの発信における表現方法、対面販売についてのPR方法を習得する

90分/コマ	後期	後期
1・2	プレタ ワークショップ提案	31 台紙、値札データ作成
3・4	プレタ ワークショップ準備	32 台紙、値札データ作成
5・6	プレタ ワークショップ準備	33 マーケティング論
7・8	プレタ ワークショップ準備	34 マーケティング論2
9・10	①自己紹介マップ	35 市場調査
11・12	マス受け・コアコミュニケーション マップ製作	36 市場調査2
13・14	②マップ発表・プレゼンテーション	37 ブランドマップ
15・16	SNSでの商品紹介・文章表現 写真撮影 作業	38 ブランドマップ2
17・18	③文章表現 プレゼンテーション	39 キャッチコピー
19・20	対面販売でのPR 商品の売り方・リピーターの作り方 レポート作成	40 キャッチコピー2
21・22	たつのワークショップ準備	41 写真の加工
23・24	説明会 レザー分類 試作	42 写真の加工2
25・26	プレゼンテーション	43 プレゼン資料作成
27・28	ワークショップ内容決定 試作(全員)	44 プレゼン資料作成
29・30	テスト	45 後期末試験

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌

【教材・教具】

筆記用具、デザインパッド、彩色用具一式

科目名	マーケティング演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	前期
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義40% 実習60 %
時間数	30	作成者	道仲 阿子
【科目の到達目標】 販売技術を向上させ、VMDへの理解を深める。 販売員が店頭管理する重要性が分かり、買いやすく、メンテナンスしやすい売り場作りができる。			
【科目の概要】 顧客心理を理解し、実店舗で販売する際に必要なVMD基礎知識を学ぶ。			
【授業計画】 90分/コマ			
1 接客の言葉使い 2 購買心理の理解 3 お客様のニーズ 4 商品提案 5 タイプ別接客 6 接客と動線 7 体験型の店舗 8 リサーチ 9 ゾーニング 10 売り場診断 11 再編集 12 イベント準備 13 イベントレポート 14 上安祭 PLAN 15 上安祭準備 期末試験			
【成績評価方法】 提出物評価40% テスト40% 授業態度20%			
【教科書・参考書】 プリントを配布			
【教材・教具】 筆記用具 色鉛筆			

科目名	フォトデザイン	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 40% 実習 60%
時間数	60	作成者	岩田 賢彦
【科目の到達目標】 ①;写真と画像の違いを理解出来し、ポートフォリオ作成に役立てられるようになる ②;ポートフォリオ用の写真撮影スキルの向上			
【科目の概要】 スマートフォンの拡充により、写真が身近になっただけに人と差が付けられる写真を撮る技術は必要不可欠な要素 講義を中心に、得られた知識を普段使っているスマートフォンを使って体感する			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1	デザイナーとポートフォリオ	16	制作物を活かす撮影
2	撮影実習①	17	撮影実習⑦
3	スマートフォンとデジタルカメラの違い	18	プロカメラマンの撮影技術
4	撮影実習②	19	撮影実習⑧
5	スマートフォンで撮る為に…	20	ポートフォリオを作ってみる
6	撮影実習③	21	ポートフォリオを作ってみる②
7	プリント実習①	22	ポートフォリオを作ってみる③
8	「光」を知る・理解する	23	キャプションの大切さ
9	撮影実習④	24	みんなのポートフォリオを作ってみる
10	画像編集実習①	25	みんなのポートフォリオを作ってみる②
11	撮影実習⑤	26	みんなのポートフォリオを作ってみる③
12	写真と画像	27	みんなのポートフォリオを作ってみる④
13	撮影実習⑥	28	ポートフォリオは自分自身
14	写真の見方	29	Web 用ポートフォリオ
15	期末考査	30	期末考査
【成績評価方法】 提出物評価70% テスト20% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 プロジェクターにて図師作成のレジメを投影			
【教材・教具】 筆記用具・個人所有のスマートフォン			

科目名	デザイン史&概論	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 70 % 実習 30 %
時間数	60	作成者	高木 義隆

【科目の到達目標】

ファッションを成立させている文化や社会、歴史的背景を知り、現在のファッションの意味（ファッションとは何か？）多様な視点で読み解き、今後の企画、発送等に活かす。

【科目の概要】

服飾文化は、その社会や文化的背景と密接に関わりながら変化し、現在のファッションを成立させている。特に高度消費社会を迎えた20世紀において、美術、造形・デザインにおける潮流や著名な作品を解説しながらファッションを文化的な現象として体系的に捉える。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	デザインとは何か？ ・日本の経営者	16	⑳(番外編)神話と宗教
2	①ゴシック、②ルネサンス、③グーデンベルグ	17	㉑オペアート、㉒スカンジナビアモダン、 ㉓ミニマリズム
3	④バロック、⑤ロココ、⑥アーツ&クラフツ ・映マリーアントワネット	18	㉔スペースエイジ、㉕ブリコラージュ、 ㉖サイケデリック
4	レポート作成1	19	㉗アーキグラム、㉘東京オリンピック1964、 ㉙ヒプノシス
5	⑦ジャポニズム、⑧ベル・エポック ・映ムーランルージュ	20	レポート作成3
6	⑨アール・ヌーボー、⑩ユーゲントシュティール ⑪ウイーン工房	21	発表1
7	⑫ドイツ工作連盟、⑬キュビズム、⑭未来派	22	㉚スーパーリアリズム、㉛ハプティクス ㉜ポストモダニズム
8	⑮ロシア・アバンギャルド、⑯ダダイズム ⑰モダニズム	23	㉝ノーデザイン、㉞ユニバーサルデザイン、 ㉟アフオーダンス、㊱サステナビリティ
9	⑰デ・スティール、⑱バウハウス	24	㊲メンフィス、㊳トマト、㊴ドローグ
10	㉒アール・デコ ・ザグレーとギャッツビー ・シャネル	25	㊵(番外編)音楽
11	レポート作成2	26	㊶(番外編)アート
12	㉓アイソタイプ、㉔インダストリアルデザイン ㉕インターナショナルスタイル	27	レポート作成4
13	㉖ミッドセンチュリー、㉗オーガニックデザイン	28	発表2
14	㉘CIデザイン、㉙スイススタイル	29	㊷クリエイティブコモンズ ～パーソナルアプリケーション
15	前期末試験	30	学年末試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

適宜プリントを配布 石川まさる(2015)「絵ときデザイン史」

【教材・教具】

筆記用具、クリアファイル(40P)、PC、モニター(プロジェクター)